

事業名：日・越胸部外科学会連携を基盤とした、ベトナム主要病院に対する胸部外科周術期支援/協力

背景：ベトナムの経済発展は著しいが、特に胸部外科医療が追いついていない現状がある

目的：ベトナム国の胸部外科医療の発展

事業の概要：日越学会間連携を推し進め、NCGM・日本呼吸器外科学会が主体となり、胸部外科医療技術の推進と、日本産の医療器機の展開・輸出を行い、ベトナムの主要大病院（BM、Choray, 108、175病院）の胸部外科医療を底上げする

効果：胸部外科医療の底上げを行い、ベトナム国の医療を改善する。

2025年度終了までには、ベトナム呼吸器外科学会の創設を目指す。

- ◆ 国立国際医療研究センター（NCGM）
 - ◆ 日本呼吸器外科学会
- 広島市民病院/岡山大学/筑波大学
岐阜大学/神戸大学/京都府立医科大学



日本企業の医療製品を紹介

オリンパス：内視鏡システム・器具
メディカロイド：日本製ロボットHinotori

胸部外科の連携
日本呼吸器外科学会
ベトナム胸部外科学会

専門家派遣
6月・12月

研修生受入
5-6月、11-12月（1w）

協議 支援

国際医療協力局

ベトナム国政府健康管理委員会/厚生省

108軍中央病院
175軍中央病院

先方出費
も活用

バックマイ病院
チョーライ病院
K3 病院
ベトドック病院
クアン・ニン総合病院

展開推進
事業費等

具体的な目標：

腫瘍外科学/肺移植についての理解を深める
手術術式・方法の選択・術前評価、外科基本手技、内視鏡外科技術、
ロボット外科手術手技の向上、安全性の向上
周術期管理、並びに術後評価、手術データベースの作成支援
呼吸器外科での手術ガイドライン作成の協力
国家プロジェクトである肺移植の支援
ベトナム呼吸器外科学会の創設（胸部外科学会からの独立）支援